

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 教育指導課長 山崎 敦史 電話番号 0852-22-5444

事務事業の名称	離島・中山間地域の高校魅力化・活性化事業	
目的	(1) 対象	離島・中山間地域の高校8校（横田・飯南・島根中央・矢上・津和野・吉賀・隠岐・隠岐島前）
	(2) 意図	地域と地元の小・中学校と連携して特色ある教育活動を展開して魅力ある学校づくりを推進し、県内外から生徒が集まる活力ある高校づくりをめざす。
事業概要	魅力化Ⅰ期校の5校（横田・飯南・吉賀・津和野・隠岐島前）はH25～H27の3年間、Ⅱ期校の3校（島根中央・矢上・隠岐）はH26～H28の3年間、魅力化事業を延長し、地域や地元の小・中学校または大学等と連携した教育活動や積極的な生徒募集を計画的・持続的に実施し、事業終了後の地域による主体的取り組みをめざす。 <input type="checkbox"/> 生徒募集情報交換会の開催 <input type="checkbox"/> コーディネーターの設置 <input type="checkbox"/> 魅力化・活性化研修会・情報交換会年2回の実施 <input type="checkbox"/> 事業アンケートの実施 <input type="checkbox"/> 合同説明会（大阪・東京）の実施とUターンフェアの参加 <input type="checkbox"/> 関西バスツアーの実施 <input type="checkbox"/> 評価指標（入学者数、地元生徒の入学率）	

2. 成果参考指標

(1) 指標名	定員充足率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		100.00	100.00	100.00	100.00	
式・定義	8校の入学学生／8校の定員合計	実績値	73.00	69.00	72.00	77.00		%
		達成率		69.00	72.00	77.00		%
指標名	地元生徒入学率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		80.00	80.00	80.00	80.00	
式・定義	8校の地元中学生の入学者数／8校の地元中学生の卒業者数	実績値	62.00	63.00	58.00	59.00		%
		達成率		78.75	72.50	73.80		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	34,910	32,018
うち一般財源(千円)	34,910	32,018

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

魅力化研修会や県外募集意見交換会を通して、評価指標である定員充足率や地元生徒の入学率の向上、県外募集のノウハウや課題の解決策に向けた話し合いを行った。魅力化実施校を訪問し、取り組みに対する助言を行って、各校の魅力化を推進している。また、昨年度より事業アンケートを実施し、地元の小・中学生や保護者、地域が、魅力化事業をどのようにとらえているかを認識したり、今後の推移も見守りながら、実施校の取組の検証に役立っている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

県外生徒の入学学生が増えたことで、魅力化8校の定員充足率が向上している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

地元生徒の入学率が目標値80%に対し、かなり下回っている。

②困っている状況が発生している「原因」

地元の中学校や地域と連携した教育活動や地域への情報発信が不十分な学校がある。

③原因を解消するための「課題」

高校生たちが出前授業や発表会を通じて学習成果を地域や地元の中学生に伝えたり、ボランティア活動など地域に貢献する機会を増やしたりすることで、自己有用感を育むとともに、地域に応援していただけるような学校作りが必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 地域や地元の小・中学校とつながったキャリア教育をさらに充実させることで、地域の方々に通わせたい、地元の小中学生が通いたい学校作りをめざす。
- 魅力化実施校がより一層連携して、成功事例を共有したり、課題解決に取り組むことで、地元生徒入学率の向上を図る。
- 定員充足率を向上させるために、地元の中学生数を考慮しながら、柔軟に県外生徒募集を推進していく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）